

NEC関西 環境アニュアルレポート (2006年度版)



三井寺



義仲寺



近江妙蓮

NEC関西 



瀬田の唐橋

関西日本電気株式会社



目次

| | |
|------------------|----|
| ごあいさつ | 1 |
| NEC関西の概要 | 2 |
| 活動のあゆみ | 3 |
| 環境管理組織 | 4 |
| 環境に係わる認証・認定 | 5 |
| 環境方針、目的目標 | |
| 環境方針 | 7 |
| 2005年度の環境管理活動結果 | 8 |
| 2006年度の主な環境目的・目標 | 9 |
| エコファクトリー活動 | 10 |
| 環境負荷マップ | 22 |
| 化学物質管理 | 23 |
| 環境会計 | 25 |
| 環境情報開示、コミュニケーション | 26 |
| 環境測定結果 | 27 |
| 地域社会とのかかわり | 29 |
| 土壌・地下水問題への対応状況 | 34 |

■ ■ ごあいさつ

当社は、NECエレクトロニクスグループにおける半導体の前工程(拡散基地)を担当し、「顧客指向」「人間尊重」「技術重視」を経営理念として事業活動を展開致しております。近畿1400万人の水資源である琵琶湖に隣接している点に配慮致しまして、CSR(企業の社会的責任)の取組みの一つである環境活動を積極的に展開致しております。

1996年3月に半導体製造業としては、国内初となるISO14001の認証を取得すると共に1999年8月には地元の大津市から自らが責任を持って環境活動が実行できる「環境管理実施事業所」として認定をいただき、その期待に応えるべく地道な活動を展開し、今日に至っております。

環境面からの顧客満足を第一に考え、グリーン調達の実施およびRoHS指令への的確に対応を行っております。半導体製造に係わるエネルギー・化学物質の使用量削減や廃棄物発生量の抑制などの環境負荷低減をNECELグループと連携しながら積極的に取り組んでいきます。また、美しい近江八景や母なる湖「琵琶湖」と共生・調和しサステナブルな社会の実現に向け、以下の取り組みを推進してまいります。

環境面から顧客満足を追求するため、グリーン調達・RoHS指令対応や環境負荷低減
地球環境保全を考慮した地球温暖化防止のための省エネルギー活動
地域及び自然環境との共生(良き企業市民としての活動)

本報告書は、2005年度の環境活動の実績をまとめたもので、活動の考え方や取り組みについて一人でも多くの方にご理解いただくと共に、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。



2006年7月

関西日本電気株式会社

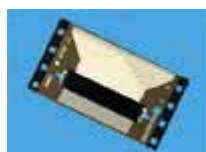
社長

谷野達雄

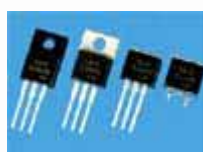
■ NEC 関西の概要

| | |
|-------|---|
| 社名 | 関西日本電気株式会社 |
| 設立 | 1983年7月1日 新日本電気株式会社より電子デバイス事業を分離、独立 (創業1943年 日本電気株式会社大津製造所) |
| 社長 | 吉野 達雄(よしの たつお) |
| 資本金 | 10億円 |
| 本社所在地 | 滋賀県大津市晴嵐二丁目9番1号 〒520-8555 TEL 077-537-7500 |
| 従業員数 | 2324名 (2006年3月末現在) |
| 生產品目 | 各種半導体 (表示制御IC、パワーMOS FET、汎用リニアIC、マイクロコンピュータ、化合物デバイス) |
| 関連会社 | 日本電子ライト(株) 三重県上野市千歳138番地 〒518-0002 TEL 0595-23-3251(代) (株)近畿分析センター 滋賀県大津市晴嵐二丁目9番1号 〒520-0833 TEL 077-534-0651(代) |

主な製品



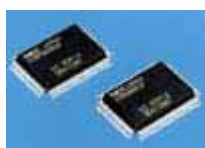
表示制御LSI



パワーMOS FET



汎用リニア IC



マイクロコンピュータ



化合物デバイス



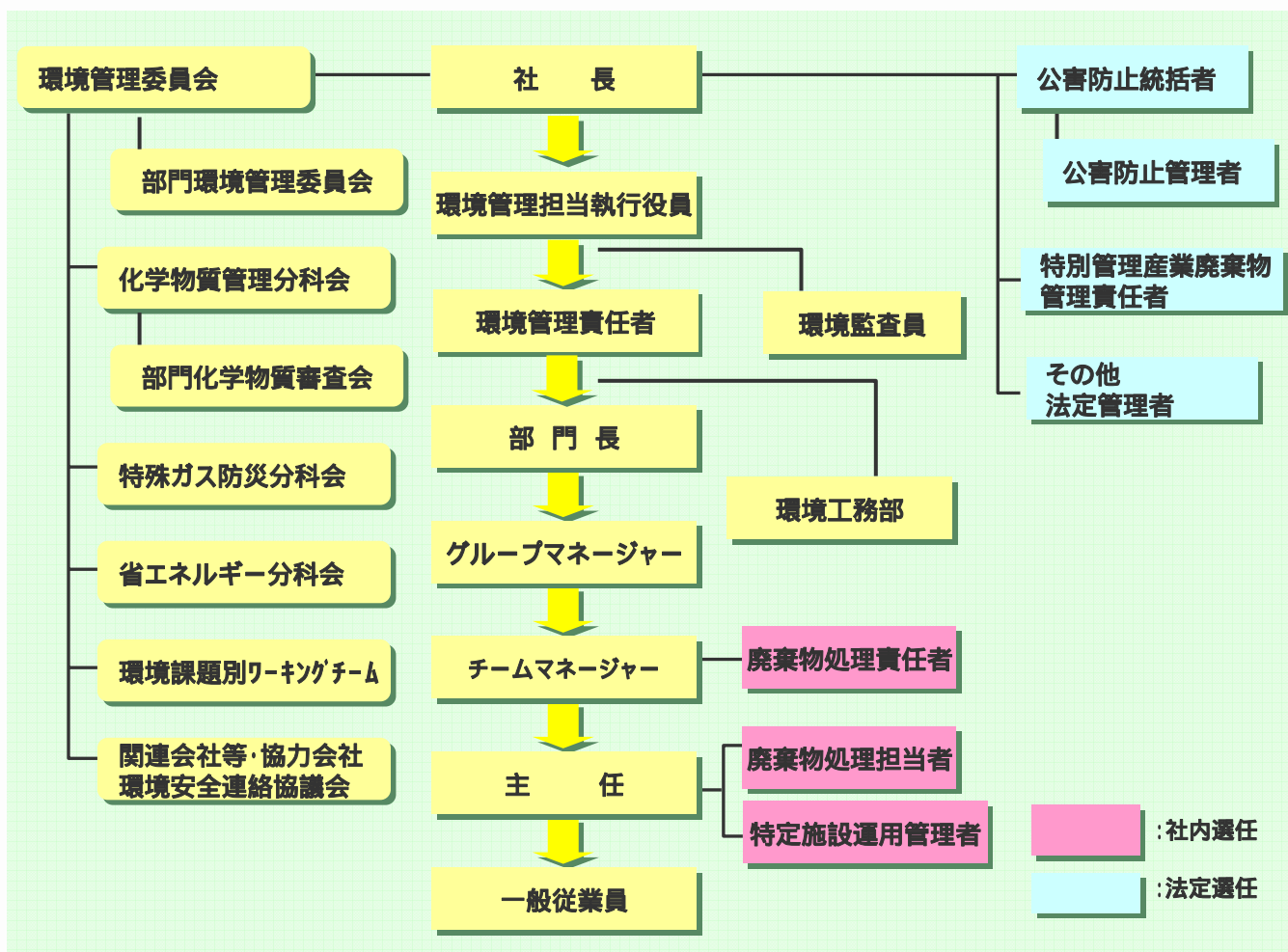
■ 活動のあゆみ

| 年度 | 活動推移 |
|-------------------|---|
| 1970 ～ 1999 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全施設の設置 ・環境安全管理室設置 ・環境監査の実施 ・地下水使用停止(リン対策) ・化学物質審査の制度化 ・脱窒素装置導入 ・トリクロロエチレン及びテトラクロロエチレン全廃 ・産業廃棄物削減及びセロエミッションの実現に向けて活動開始 ・環境保全優良事業場賞受賞(1984) ・煌き大津賞受賞(1990) ・ISO14001NEC関西認証取得:1996年3月 日本品質保証機構 ・環境管理実施事業所認定 |
| 2000 ～ 2002 | <ul style="list-style-type: none"> ・Ecoアクションプラン制定 ・セロエミッションの達成 ・MSDS整備完了 ・製品・製法アセスメント実施 ・環境アニュアルレポート発行 ・環境会計の実施 ・PRTR法対応 ・リサイクル協議会会長賞受賞(2000) ・高圧ガス保安経済産業大臣表彰(2001) ・地域環境保全功労者表彰(2001) ・高圧ガス保安功労者(2001) ・滋賀県一般高圧ガス保安協会感謝状(2002) ・地域環境保全功労者表彰(2002) |
| 2003 ～ 2005 | <ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー推進 ・環境管理実施事業所更新 ・淡海エコフォスター制度登録 ・グリーン調達推進(直材04年2月100%完了) ・産官学による再資源化活動推進 ・経済産業省による第1種エネルギー管理指定工場総点検(合格) ・当社のすべての関連会社でISO14001認証取得 ・監査・教育・情報等の電子化推進 ・環境保全優良事業所表彰受賞(2005年度) |

■ 環境管理組織

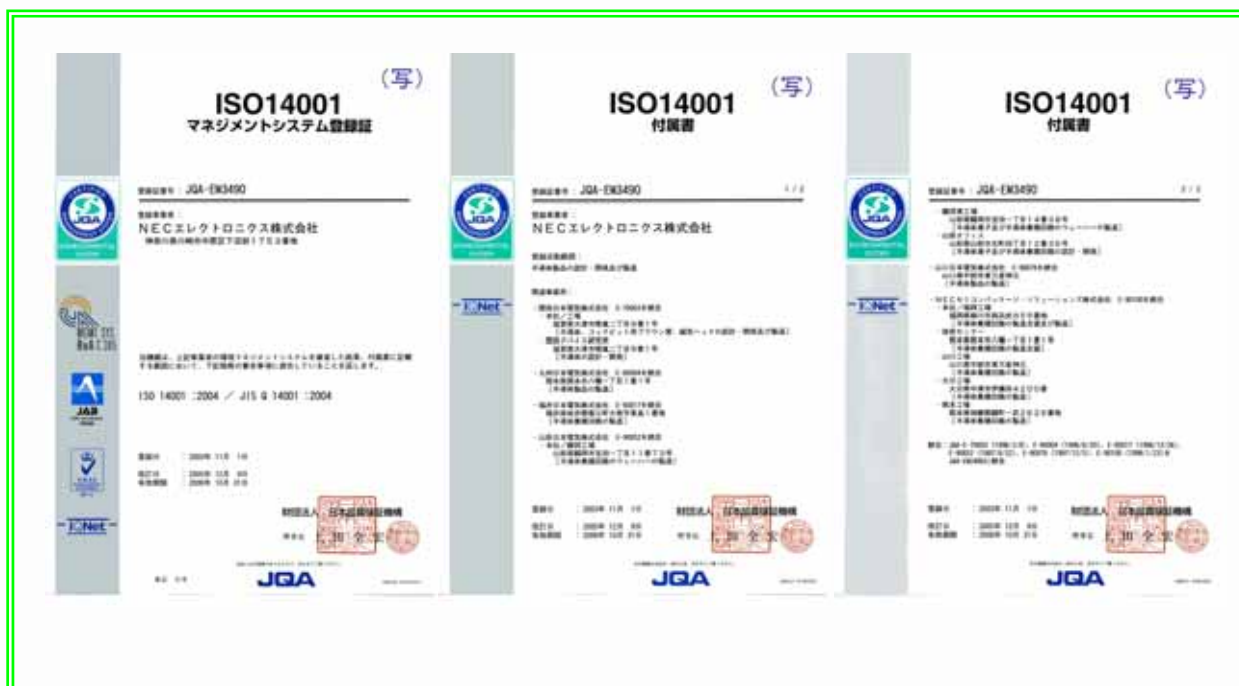
環境管理活動を推進するための環境管理組織は、以下の通りです。

- ・環境方針等の全社展開機関として社長を委員長とする環境管理委員会を設置し、課題別の解決機関として分科会、各種ワーキングチームを設置しています。
- ・環境関係の法定管理者として公害防止統括者、公害防止管理者等を設置し、また社内管理者として廃棄物処理責任者、廃棄物処理担当者等を選任しています。

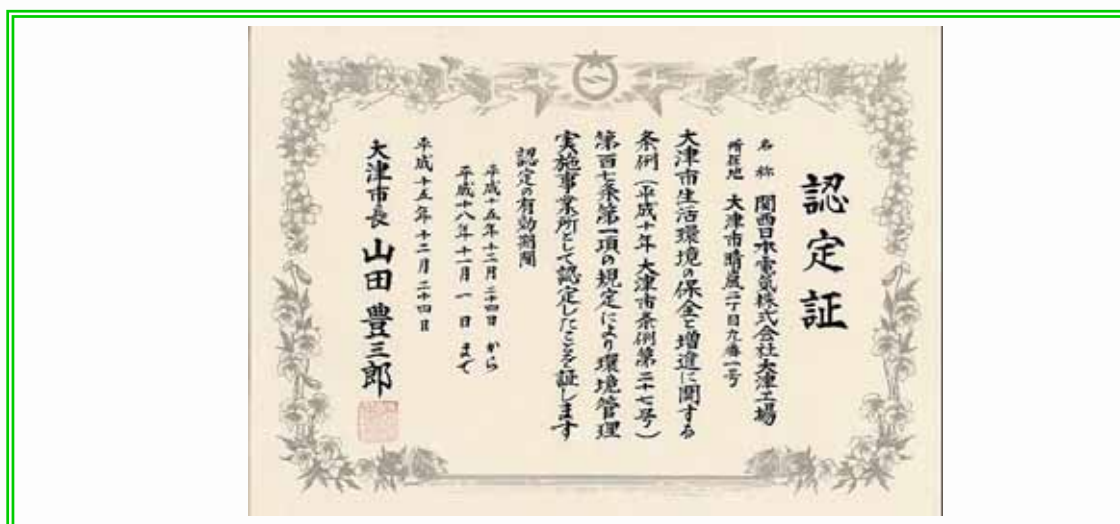


■ 環境管理に係わる認証・認定

環境マネジメントシステムに係わる国際規格のISO14001認証を国内半導体製造事業所において初めて、1996年3月8日に取得しました。2003年11月にNECエレクトロニクスグループ・国内生産分身会社6社の一括認証に切り替え、認証を継続しています。



自主的な環境管理活動が認められて1999年9月に大津市から「環境管理実施事業所」として認定されました。継続認定として2003年12月に更新しました。



■ 環境管理に係わる表彰

環境保全優良事業所表彰受賞

平成17年度における当社の環境保全活動の取り組み内容が継続的、独創的で模範となり、顕著な成果を挙げているという評価をいただき、環境マネジメント部門で滋賀県環境保全協会長賞を受賞しました。

活動の概要

- ・省エネ施策推進(全社ケチケチ作戦)
- ・化学物質削減(源流での取り組み等)
- ・資源循環(再資源化の取り組み等)
- ・地域貢献(ボランティアに年1000人以上参加等)



滋賀県環境保全協会長賞



当社の活動状況を紹介

■ 環境方針

環境理念

自然のいとなみを尊重した環境管理活動を展開し、
環境に配慮した事業活動と地球環境保全の両立を目指します。

行動指針

1. 半導体製造に係わる活動、製品の全領域において環境負荷を最小限にするために省資源・省エネルギー・廃棄物削減・環境リスク対策などの環境パフォーマンスを推進します。
2. 環境マネジメントシステムに基づき環境保全活動を展開し、継続的改善の実施と汚染の予防を図ります。
3. 環境に関する法令及び同意したその他の要求事項を順守することはもとより、自主管理基準を設定し、環境管理レベルの向上に努めます。
4. 環境目的、目標の設定及びその達成に向けて実施計画を作成し、定期的にレビューを行います。
5. 環境方針を積極的に公開し、その内容を確実に実行・維持します。また、全従業員及び当社のために働くすべての人に周知します。
6. 開発した環境技術・管理手法を活用して社会に貢献します。
7. 琵琶湖の近隣に立地していることを認識し、自然環境に充分配慮すると共に地域と一体となった環境向上活動を展開します。

環境方針の内容をいつでもどこでも見られるように
環境グリーンカードを全従業員に配付しています。

NEC
NEC関西の環境方針
(環境理念+7つの行動指針)

環境理念
自然のいとなみを尊重した
環境管理活動を展開し、
環境に配慮した事業活動と
地球環境保全の両立を目指します。

環境方針に基づく「私の環境に配慮した行動」

| 所属 | 氏名 |
|----|----|
| | |

従業員各自は、環境グリーンカード
に実践を心がける環境に配慮した
自分自身の行動を記載しています。



全従業員は、環境グリーン
カードを常に携帯しています。

■ 2005年度の環境管理活動結果

2005年度の主な取組み実績

| 2005年度環境目標 | 実績 | 評価 |
|---|--|----|
| 地球温暖化防止 炭酸ガス排出量： 1990年度対比115%以下 | 112% | |
| グリーン調達推進活動 間接材料のグリーン調達率を 100%にする。 | 100% | |
| 資源有効利用 化学物質の総使用量： 2004年度対比113%以下 | 112% | |
| 資源循環 産業廃棄物総排出量： 2004年度対比101%以下 | 88% | |
| 一般廃棄物総排出量： 120t/年以下を継続する。 | 113t | |
| リスクミニマム 計画的に環境リスク対策を進めることで、「外部に影響する環境異常の発生件数ゼロ」を継続する。 | 外部に影響する 環境異常ゼロ継続 | |

達成度評価 : 100%以上120%未満
 : 80%以上100%未満
 × : 80%未満

■ 2006年度の主な環境目的・目標

| 環境目的 | 2006年度目標 |
|---|------------------------------|
| 地球温暖化防止 炭酸ガス排出量絶対値を2010年度末に1990年度対比で8.6%削減する。 | 炭酸ガス排出量絶対値 1990年度対比112%以下 |
| VOC排出量削減 VOC対象物質排出量を2010年度末に2000年度対比40%削減にする。 | 2006年4月の法施行に伴う対象物質の詳細調査実施 |
| 資源有効利用 化学物質の総使用量を2010年度に2005年度対比3%削減する。 | 2005年度対比101%以下 |
| 資源循環 産業廃棄物総排出量を2010年度に2005年度対比3%削減する。 | 2005年度対比99%以下 |
| 一般廃棄物総排出量を120t/年以下を継続する。 | 120t/年以下 |
| リスクミニマム 計画的に環境リスク対策を進めることで、「外部に影響する環境異常の発生件数ゼロ」を継続する。 | 外部に影響する環境異常ゼロ |

■ エコファクトリー活動1

省エネルギーへの取り組み (地球温暖化防止への貢献)

- ・ 2005年度は、製造ラインにおけるプロセスの改善、噴霧加湿技術導入、環境の見直し、フリークーリング適用、インバータ化などにより、厳冬のハンデを克服し、目標を達成しました。
- ・ 2006年度以降の取り組みとしては、地道な省エネ施策を継続すると共に将来に向けた省エネ施策を模索していきます。

当社の地球温暖化防止[CO₂削減] 長期目標

長期目標：絶対値 91.4%（'10年度 / 90年度対比）
（国際的取決め準拠）
原単位 75.0%（'10年度 / 90年度対比）
（企業物価指数を考慮）

全社一丸となった
アチケチ作戦の実践



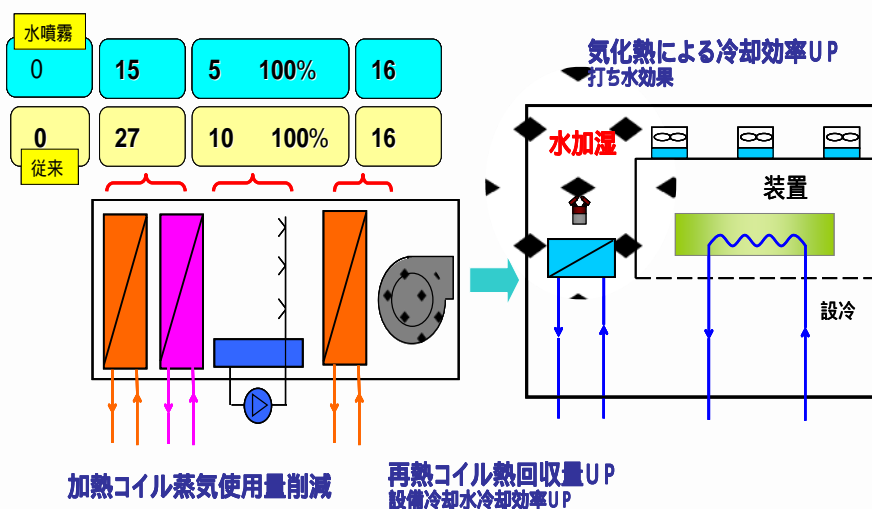
地球温暖化防止「国民運動」
“チーム・マイナス6%”
に全社を挙げて参加中



■ エコファクトリー活動2

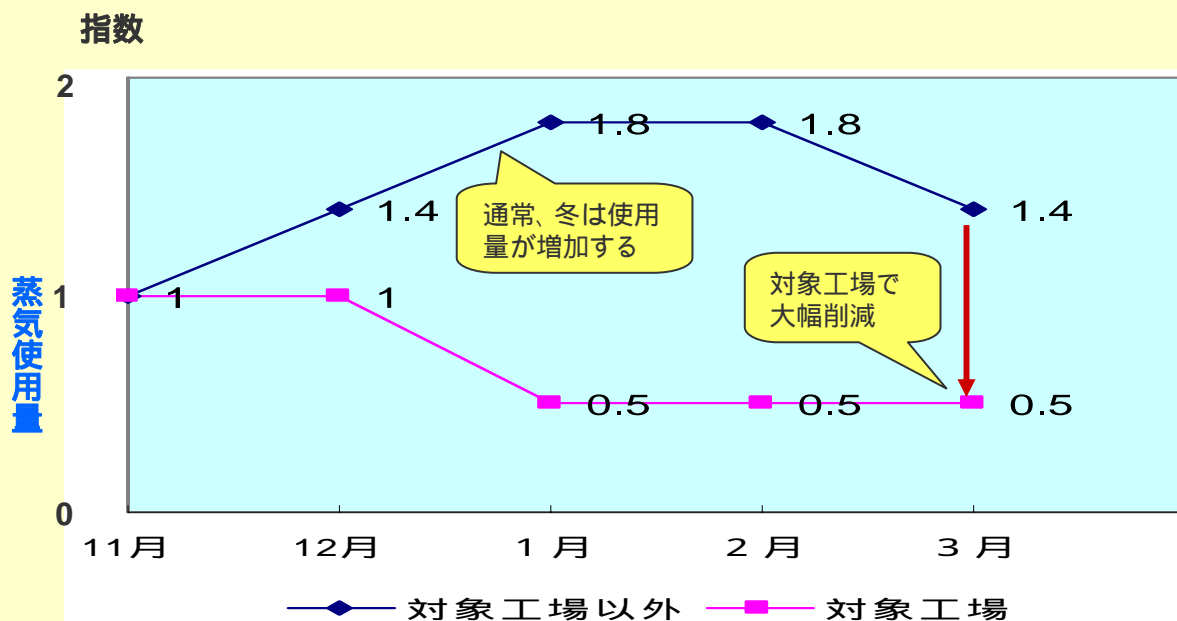
省エネルギー事例

05年度実施事例(噴霧加湿)



クリーンルームの室内温調システムは一般的に外調機の加湿により行われている。

今回、工場に最適な最新方式である水噴霧加湿システムを導入することにより、冬季の室内温調制御用蒸気量を削減し、大きな省エネ効果を発揮している。

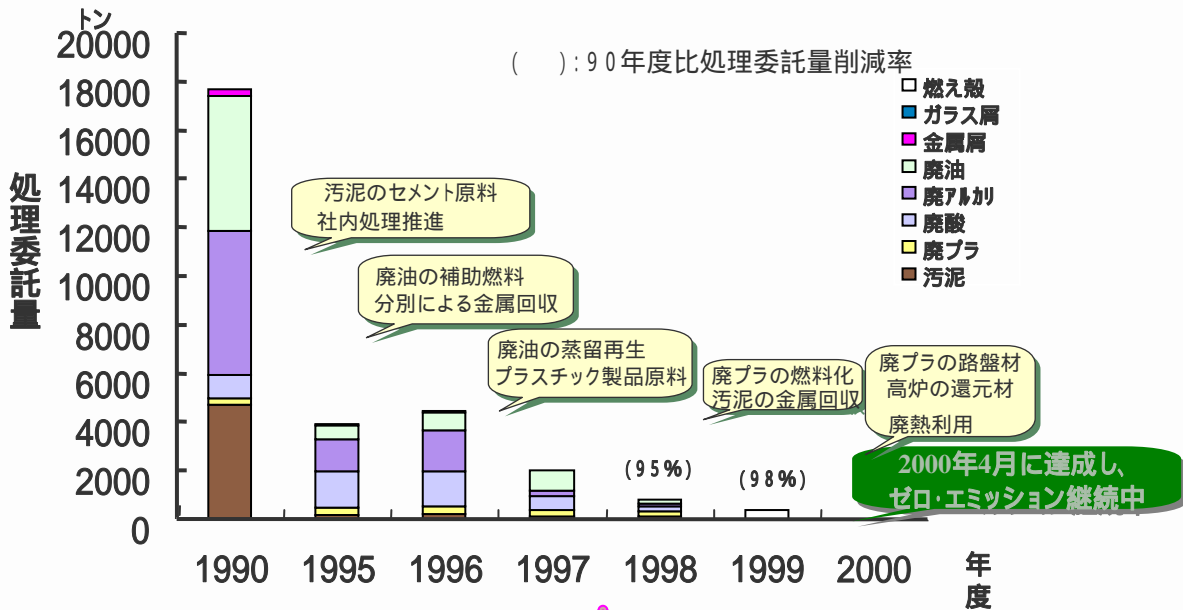


水噴霧加湿システムの導入により蒸気使用量(重油使用量)が削減し、約1,100tのCO2削減効果がありました。

■ エコファクトリー活動3

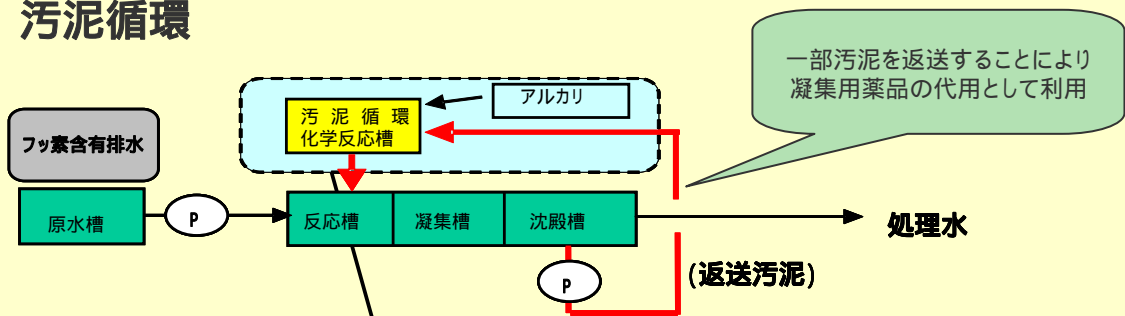
廃棄物削減への取り組み

ゼロエミッション(100%再資源化)の継続



2005年度改善事例

汚泥循環



汚泥を循環することで、薬品注入量を削減

汚泥削減(6t/月)

汚泥が凝集剤の役割を行うので凝集剤の投入を減らせる。また、汚泥が高濃度になるので脱水率改善が見込まれる

■ エコファクトリー活動4

環境リスク対策事例

当社の廃棄物が適正に処理されるよう常に確認しています。

- ・ 当社の廃棄物を収集運搬していただく業者との情報交換の場として、定期的に安全輸送協議会を開催しています。
(1回/年)
- ・ 当社から発生した廃棄物が適正に処理されているかどうかを把握するために、廃棄物処理委託先の現地確認を実施しています。
(1回/年)

廃棄物排出責任への的確な対応



当社の廃棄物を安全に運んでもらうために廃棄物収集運搬業者を集めて安全輸送協議会を開催しました。



廃棄物の中間処理・最終処分業者を年1回の頻度で現地確認を実施しています。

■ エコファクトリー活動5

環境リスク対策事例

環境リスクマネジメントの強化のため以下の取り組みを進めています。

- ・ 2005年度は、環境負荷の高い場所において環境異常時を想定した対応テストを計画通り実施しました。
- ・ 環境異常時を想定した対応テストでは、緊急予備槽や土の有効性についても確認すると共に反省会を実施し問題点を抽出し、解決することでレベルアップを図っています。

環境異常時想定処置対応テスト実施



廃棄物最終集場には、いろいろな廃棄物を保管しており、廃液や廃油が漏洩したことを想定した対応テストを実施しています。広がり防止から回収の手順の有効性を確認しています。



化学物質を使用する製造ラインでは、薬品やガスが漏洩したことを想定して対応訓練を行っています。

製造ラインは交替勤務のため、年間計画に基づいて、勤務毎に実務訓練を行っています。

■ エコファクトリー活動6

薬品使用量削減事例

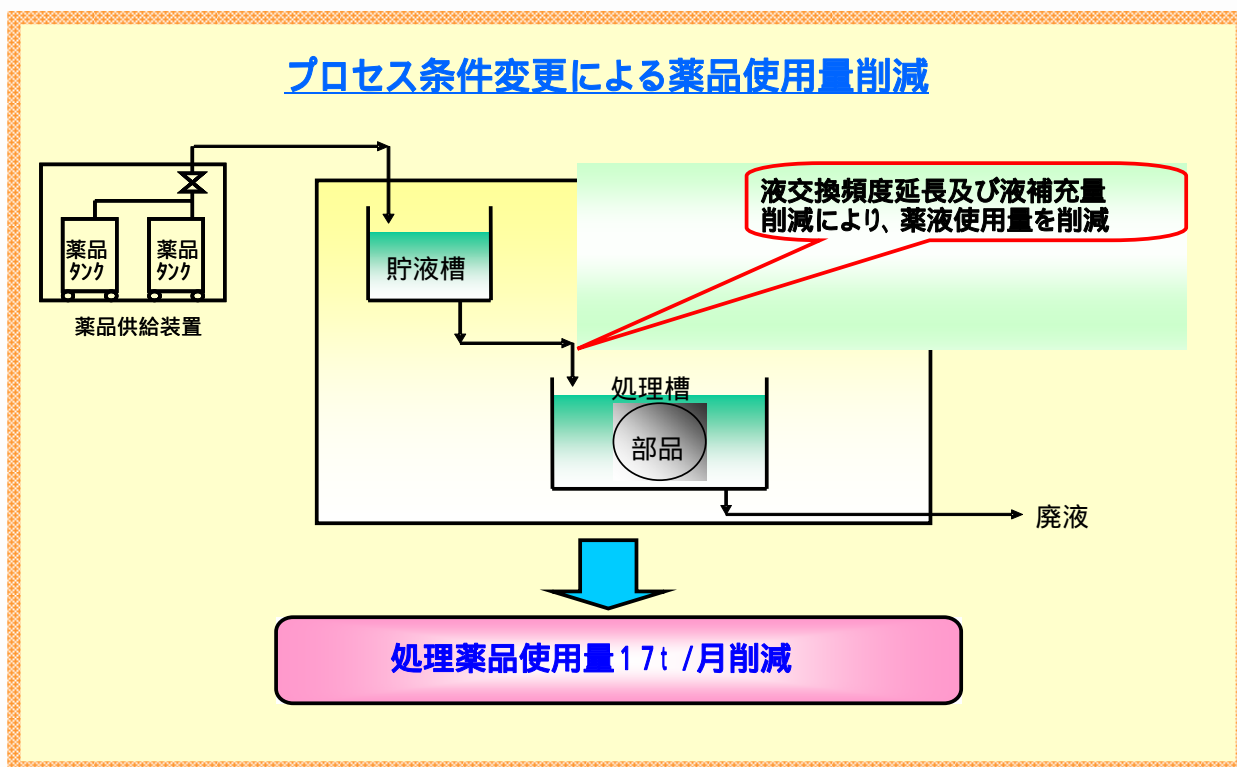
化学物質使用量削減活動として生産ラインと環境保全部門が一体になって活動を行っています。

- ・ 工程、設備毎の使用量管理から改善
- ・ 繰り返し実験、製品の評価により変更

源流側での化学物質使用量削減と使用後の廃液を無害化するための処理薬品使用量削減に取り組んでいます。

NECエレクトロニクスグループ内で環境負荷低減、汚染防止に貢献し、表彰を受けました。

(2006年6月)



■ エコファクトリー活動7

オフィスにおける環境管理活動

- ・一般従業員が係わる一般廃棄物の発生場所には分別廃棄用の回収ボックスを用意し、発生元で分別を徹底しています。
- ・オフィスにおける省エネ施策として不用時の消灯及びパソコン電源OFF等の活動を徹底しています。

全員参加のきめ細かな環境管理活動の展開



絵で見る廃棄物分別方法、古紙回収マニュアル



各職場に掲示し、全従業員に徹底しています。

オフィスの省エネ

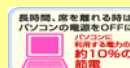
冷房機（エアコン）の省エネ

冷房設定温度は
28 以上にしましょう。



パソコンの省エネ

1時間以上の離席時は
電源OFFしましょう。



天井照明の省エネ

昼休みは消灯しましょう。



オフィスの省エネ対策として全従業員に啓発を実施しています。社内イントラでも案内しています。

■ エコファクトリー活動 8

関連会社等への支援活動

環境管理・安全衛生レベルの向上のために関連会社等や取引先と定期的に情報交換しています。

- ・ 関連会社等及び協力会社と環境安全に係わる協議会及び現地情報交換会などを定期的に行い、相互の環境・安全レベル向上に努力しています。
- ・ 資材供給者等の取引先に対してエコアクションプラン概要版等を配付することで、当社の環境管理活動の取り組みを理解していただいています。



関連会社等・協力会社 環境安全現地情報交換会

関連会社等の方々に環境・安全に関する活動状況の確認を目的にアンケート調査の実施や、内部監査員として参画し活動レベルの向上に努めています。



関連会社等・協力会社 環境安全連絡協議会

関連会社等の方々に当社の環境管理・安全衛生に係わる活動内容を展開する機会として環境安全協議会を開催しています。

■ エコファクトリー活動9

内部環境監査

自主的な環境管理活動レベル向上のために全部門（12部門）を対象に内部環境監査を実施しました。

- ・環境負荷の大きな部門に対しては、インタビューとパトロールチェックを併用したきめ細かな監査を行い、環境負荷の小さな部門に対しては、重点を絞って書類監査を行いました。

環境経営監査

- ・NECELグループでは相互の環境レベル向上を目指して、環境監査員を派遣しあって毎年環境経営監査を行っています。
- ・ISO14001の要求事項と環境改善に関する取り組み状況の監査を受けながら、情報交換の場として活用しています。



インタビューチェックで環境管理活動状況の書類確認を行い、書類に記載されている内容の事実関係を担当者に直接ヒアリングすることで、検証しています。また、必要に応じてインタビューでの確認内容を現地パトロールでもチェックするようにしています。



環境保全施設の運転状況、PH計などの監視機器の校正状況および緑地管理状況等、環境に係わる重要な運転管理状況を現地パトロールで確認しています。また必要に応じて点検結果などの帳票類の確認も実施します。

■ エコファクトリー活動10

環境面からの顧客対応

2005年度グリーン調達活動実施計画及び実績

| 対象品 | | 4月~6月 | 7月~9月 | 10月~12月 | |
|-------|-----------------------|-----------------|-------|---------|---|
| 生産用部材 | グリーン調達率 100%維持 | | | | |
| | 調査・回収 | 2004年度完了 | | | |
| 間接材料 | 認定通知 NG通知発行 | 2004年度完了 | | | |
| | 進捗確認& フォローアップ | | → | → | → |
| 設備 | ISO14001or KES認証取得 | | | | |
| | | 05/2 計画通り100%完了 | | | |

- ・ 2004年度は、生産用部品のグリーン調達100%を達成しました。
- ・ 2005年度は、関係するパートナーと環境マネジメントシステムの構築に関する情報交換・情報提供等を行い、問題点を改善していただき、間接材料・設備に関するグリーン調達100%を達成しました。
- ・ 2006年度7月に施行されたRoHS指令に対応するための活動を継続しています。

■ エコファクトリー活動 1 1

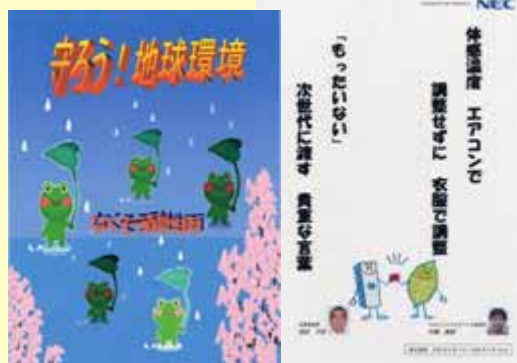
教育・意識啓発活動

- ・従業員各自の環境管理レベル向上のために、環境管理教育や環境意識向上活動を前向きに展開しています。
- ・全員参加の環境管理活動を活性化させていくために環境月間（6月、11月）を設定しています。



エコ講演会

環境意識向上を目的に従業員及び近隣自治会の方を対象に時の話題をテーマに、毎年6月と11月に環境管理教育を行っています。



環境管理ポスター・標語

環境管理に係わるポスター・標語を年1回募集し、優秀作品を社内に掲示することで、環境意識向上につなげています。2005年度は応募作品ポスター23件、標語2541件から、ポスター4点、標語8点の優秀作品を選出し掲示しました。



環境Web教育

全従業員を対象に環境管理教育を行っており、パソコンを活用していつでも受講者の都合により受講できるようにしています。また、特定の教育についてもWeb教育についてもWeb教育を活用しています。

■ エコファクトリー活動12

地域の環境団体の中で積極的に活動

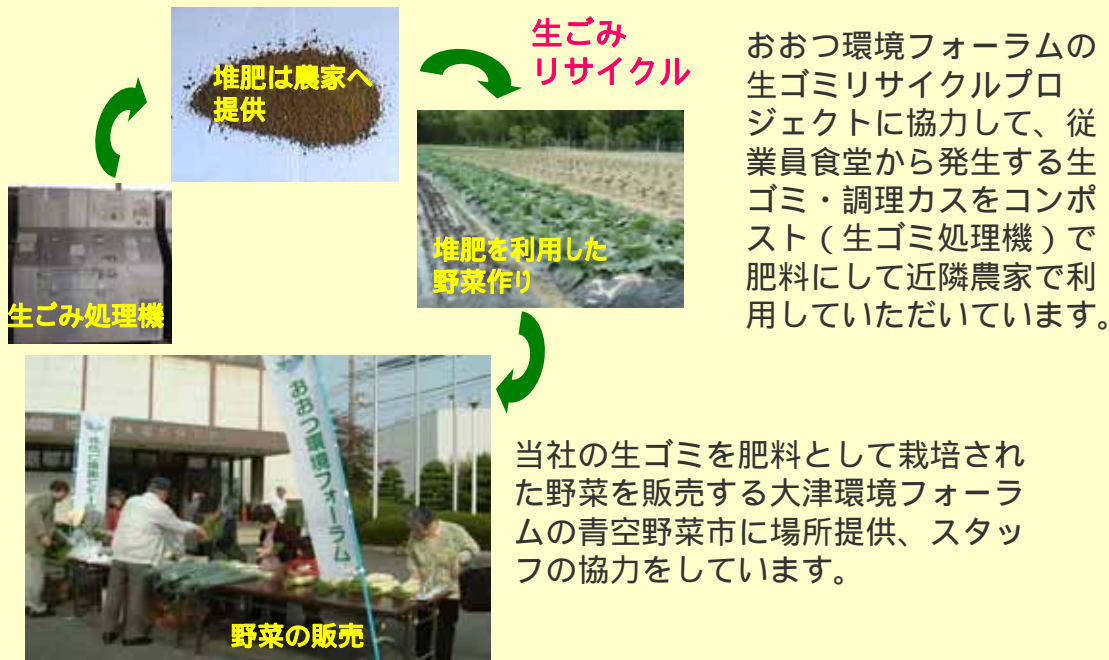
- ・ おおつ環境フォーラムでは運営委員、大津環境マネジメントシステムプロジェクトではサブリーダーを担当しています。
- ・ 生ゴミリサイクルプロジェクトの活動に協力し、当社従業員食堂の生ゴミを社内で肥料化し、近隣農家の野菜作りに利用していただいています。

また、栽培された野菜は当社で場所を提供し、フォーラム主催の青空野菜市で販売され、スタッフとして参画協力しました。



おおつ環境フォーラムの活動に協力

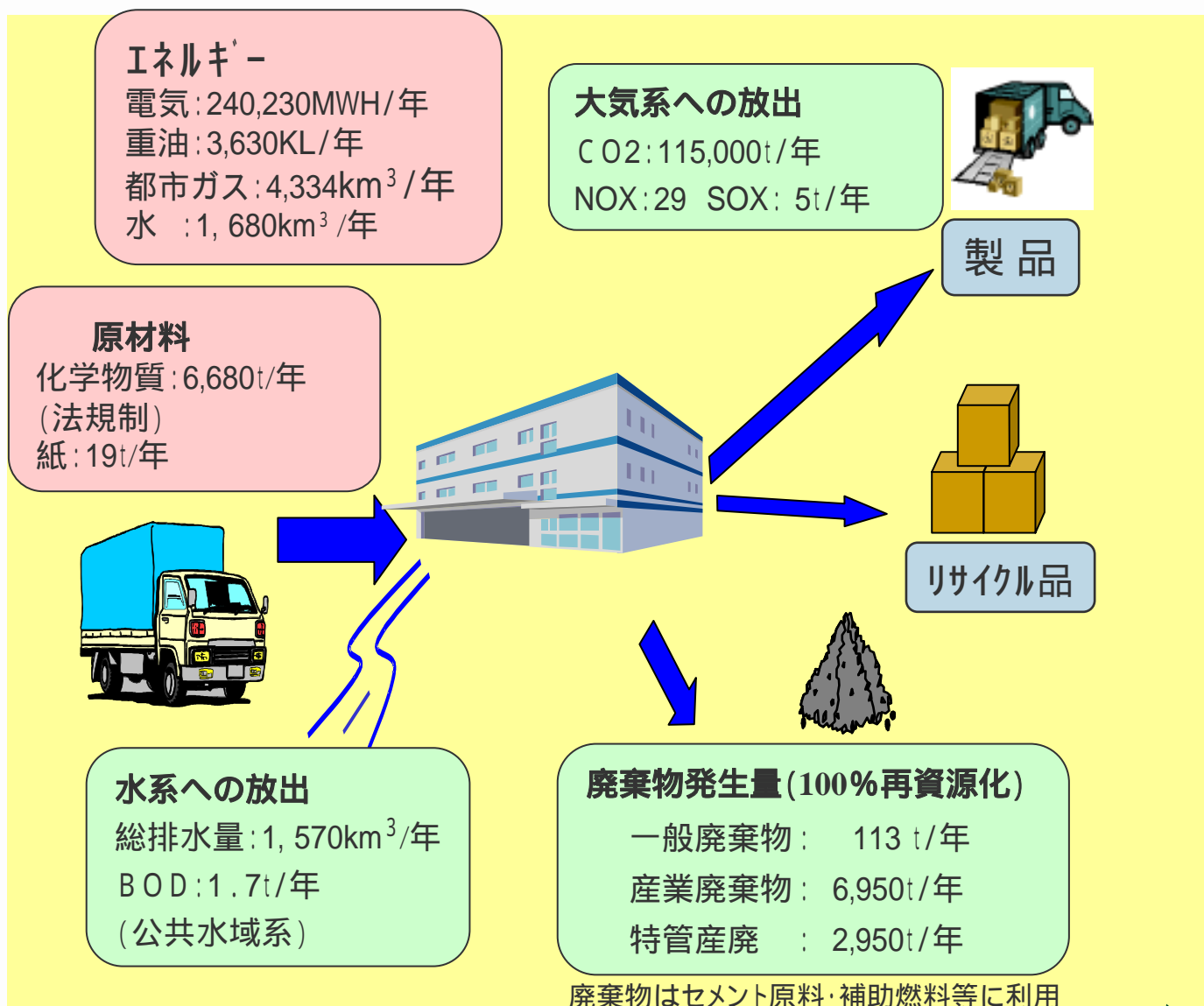
おおつ環境フォーラムのOES（大津環境マネジメントシステム）プロジェクトでマネジメントシステムの普及活動を展開しています。



■ 環境負荷マップ

マスバランス

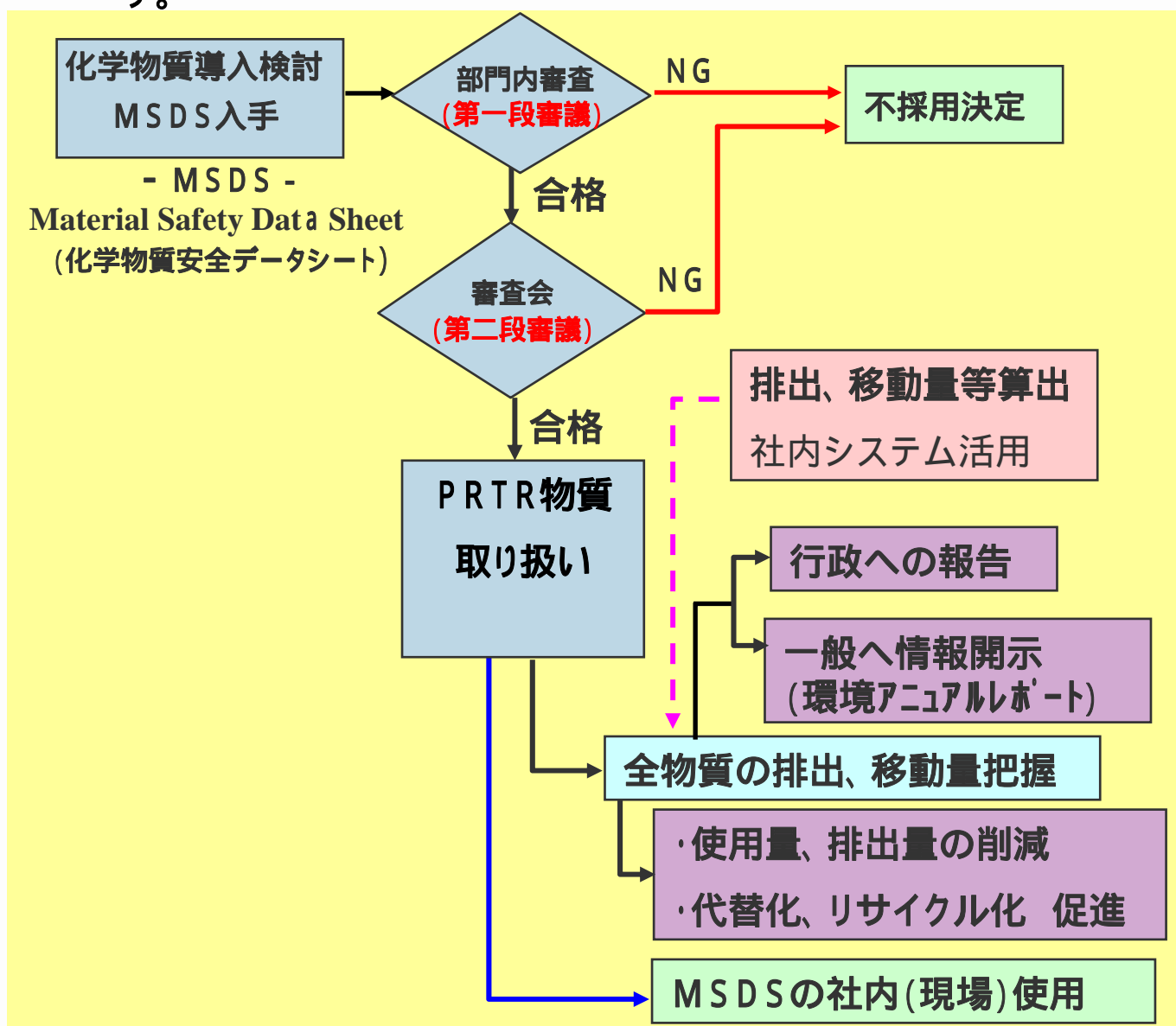
- ・環境に係わるインプット及びアウトプットデータを確実に管理し、環境負荷低減のために活用しています。
- ・自然界の環境負荷が増加しないように継続的改善を進めていきます。



■ 化学物質管理 (P R T R 法対応)

化学物質導入フロー

- ・ 2001年4月に化学物質の排出・移動量を把握するための法律であるP R T R法が施行され、4年が経過しました。
- ・ 当社では、化学物質導入段階から有害性等を2段階で厳重に審議し、有害な物質を使用しないように努めています。
- ・ PRTR法物質は、削減・代替化及びリサイクルを進めています。



■ 化学物質管理 (P R T R 法対応)

P R T R 対象物質の排出量削減活動

P R T R 対象物質は資材の購入から製品として出荷したり、排水処理、排ガス廃棄物処理などを含め、全てのIN - O U T 管理を行っております。

P R T R 対象物質の排出量、移動量等 (2005年度)

(単位:t)

| 化学物質名 | 政令 番号 | 取り扱い量 | 消費量 (製品含有) | 除去処理量 | 排出・移動量 | | | リサイクル量 |
|-------------------|----------|--------|---------------|-------|--------|-------------|---------------|--------|
| | | | | | 大気排出量 | 公共水域 排出量 | 廃棄物処理 量(注) | |
| 2 - アミノエタノール | 16 | 11.18 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 11.18 | 0.00 |
| エチレングリコール | 43 | 0.43 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.43 | 0.00 |
| キシレン | 63 | 29.49 | 0.00 | 0.00 | 0.44 | 0.00 | 29.05 | 0.00 |
| 銀及びその水溶性化合物 | 64 | 0.54 | 0.26 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.28 |
| クロム | 68 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 |
| クロロベンゼン | 93 | 0.11 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.11 | 0.00 |
| 無機シアン化合物 | 108 | 0.06 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.06 | 0.00 |
| o - ジクロルベンゼン | 139 | 146.13 | 0.00 | 0.00 | 1.32 | 0.00 | 144.81 | 0.00 |
| 1,3,5 - トリメチルベンゼン | 224 | 14.82 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 14.82 | 0.00 |
| 鉛及びその化合物 | 230 | 0.07 | 0.07 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.11 |
| ニッケル | 231 | 0.21 | 0.10 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.11 |
| 砒素及びその無機化合物 | 252 | 0.92 | 0.50 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.27 | 0.15 |
| フェノール | 266 | 65.07 | 0.00 | 0.00 | 0.32 | 0.00 | 64.74 | 0.00 |
| ふっ化水素及びその水溶塩 | 283 | 178.09 | 0.00 | 26.53 | 0.00 | 2.71 | 148.85 | 0.00 |
| ほう素及びその化合物 | 304 | 0.18 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.17 | 0.00 |
| 合 計 | | 447.31 | 0.94 | 26.53 | 2.08 | 2.71 | 414.50 | 0.66 |

注: 廃棄物処理量には、委託再資源化量によるリサイクル量を含む

P R T R 対象物質排出量削減に取り組み、社内目標を達成しました。

目標: 2005年度に2002年度対比30%削減

実績: 35%削減

施策: 有機排ガス処理装置の活性炭の適正交換を実施しています。
今後: 揮発性有機化合物の大気排出量削減に取り組んでいきます。

■ 環境会計(2005年度実績)

環境経営を進めるうえで、環境会計は重要であり、ここでは、設備投資額と経費、実質的な経済効果を掲げています。

設備投資(全体;約45百万円)の約82%は、地球温暖化防止(省エネ)・リスク対応、費用(全体;約1212百万円)の約20%は廃棄物の再資源化・発生抑制対策等の費用です。

全体としての経済効果は、+67百万円でした。

環境会計集計結果

(単位:百万円)

| 項目 | 内容 | 設備投資額 (百万円) | 経費 (百万円) | 効果 | |
|-----------|---------------------------|----------------|-------------|---------------|------------|
| | | | | 経済効果 (百万円) | 環境負荷低減 |
| 地球温暖化防止 | 地球温暖化防止対策 | 29.9 | 0.0 | 14.62 | 2,303t-CO2 |
| 資源有効活用 | 化学物質・資材・水等の使用量低減対策 | 0.8 | 0.0 | 19.0 | 172.8ton |
| 資源循環活動 | 廃棄物の再資源化、発生抑制対策等化学物質 | 7.2 | 248.2 | 15.2 | 1,297.2ton |
| リスク対応 | 公害防止対策、遵法対応・化学物質・廃棄物管理・訓練 | 6.82 | 25.6 | 0.0 | - |
| 製品環境配慮 | 製品・製法アセスメント等 | 0.0 | 0.0 | - | - |
| 環境活動 | 人件費、人材育成費 | 0.0 | 937.9 | - | - |
| 研究開発 | 環境負荷低減技術開発 | 0.0 | 0.0 | - | - |
| 社会活動 | 社会貢献・情報公開・緑化 | 0.0 | 0.05 | - | - |
| 環境損傷(その他) | 汚染負荷量賦課金 | - | 0.5 | - | - |
| 合計 | | 44.7 | 1212.2 | 66.5 | |

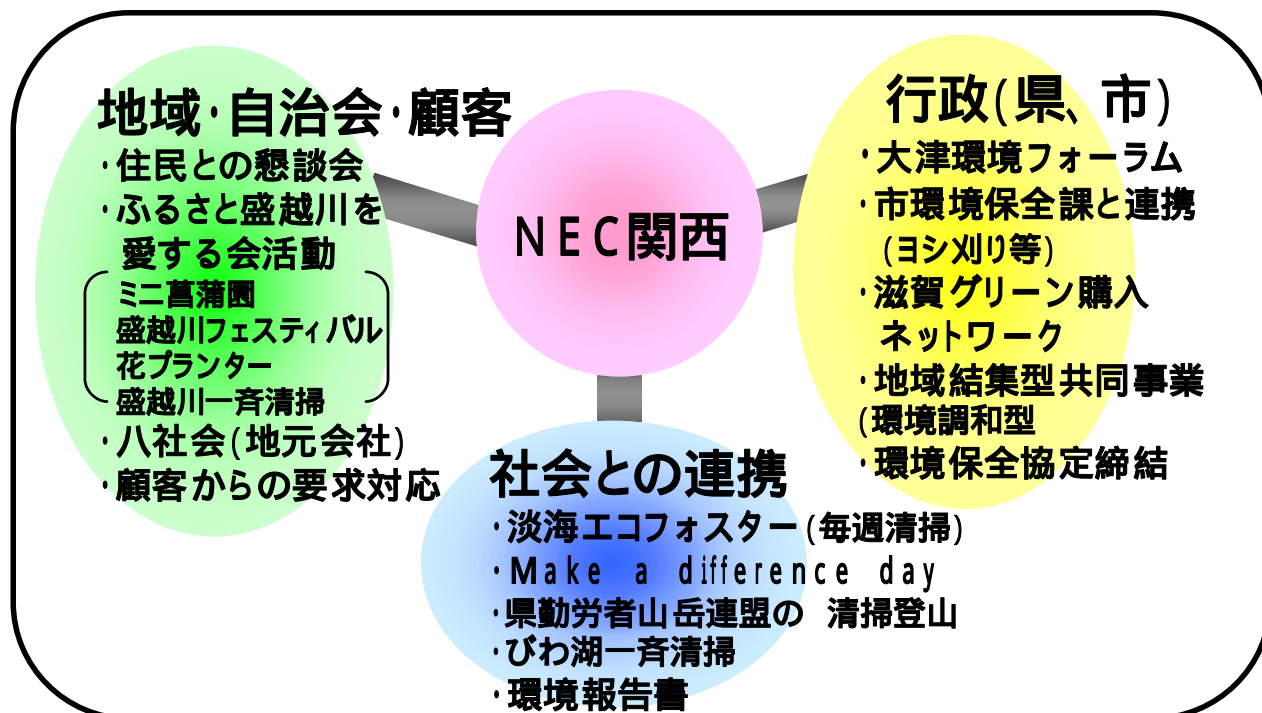
■ 環境情報開示、コミュニケーション

環境コミュニケーション

当社は、ステークホルダーをはじめとした関係の皆様との、環境に係わるコミュニケーションを非常に大切にしています。行政との情報交換として、大津市との環境保全協定による定期報告を行い、その報告内容を、大津市のホームページに掲載していただくことで、皆様にもご覧いただけるようにしております。

顧客との情報交換では、お客様からの環境調査などにタイムリーに対応しています。地域の皆様とは、環境の説明会などイベントや環境ボランティア等を通じて意思疎通を図るよう努めています。

環境コミュニケーションの確実な実施



■ 環境測定結果

測定結果

国や地方自治体の定める規制値より、更に厳しい自主管理基準値を設定し、管理しています。その管理状況を定期的に監視するために環境関係測定を実施しています。

水質関係測定結果

2005年度測定結果の平均値

| 測定項目 | 国基準値 | 大津市基準値 | 自主基準値 | 平均測定値 | 測定結果 | MAX |
|---------|---------|---------|---------|-------|------|---------|
| カドミウム | 0.1 | 0.01 | ND | ND | ○ | ND |
| シアン | 1 | 0.1 | ND | ND | ○ | ND |
| 鉛 | 0.1 | 0.1 | ND | ND | ○ | ND |
| 六価クロム | 0.5 | 0.05 | 0.02 | ND | ○ | ND |
| 砒素 | 0.1 | 0.05 | 0.01 | ND | ○ | ND |
| 水銀 | 0.005 | 0.005 | 0.001 | ND | ○ | ND |
| PH | 5.8-8.6 | 6.0-8.5 | 6.5-8.0 | 7.5 | ○ | 7.3-7.7 |
| BOD | 160 | 20 | 4.7 | 1.1 | ○ | 1.7 |
| COD | 160 | 20 | 5.9 | 3.5 | ○ | 5 |
| SS | 200 | 70 | 4.1 | 1 | ○ | 1.3 |
| n - hex | 5 | 5 | 1 | ND | ○ | ND |
| フッ素 | 8 | 8 | 2.2 | 1.8 | ○ | 2.1 |
| 総窒素 | 120 | 8 | 5 | 1.5 | ○ | 4.9 |
| 総リン | 16 | 0.8 | 0.2 | 0.08 | ○ | 0.17 |
| 大腸菌群数 | 3000 | 3000 | 37 | 0.3 | ○ | 4 |
| 銅 | 3 | 1 | 0.1 | ND | ○ | ND |
| 亜鉛 | 5 | 1 | 0.5 | ND | ○ | ND |

単位はPHを除き mg / l 、大腸菌群数:個 / cm³

注: 印は測定結果が自主基準値内であることを示す

pH:水素イオン濃度 SS:水中の汚濁物質濃度 BOD:生物化学的酸素要求量 COD:化学的酸素要求量

大気測定結果

2005年度測定結果の平均値

| 大津工場測定施設 | 測定項目 | 単位 | 国の基準値 | 自主基準値 | 平均測定値 | 測定結果 | MAX |
|----------|-----------|--------------------|-------|-------|-------|------|------|
| ボイラー | ばいじん | g/m ³ N | 0.3 | 0.09 | 0.01 | ○ | 0.01 |
| | 窒素酸化物 | ppm | 180 | 130 | 110 | ○ | 110 |
| | 硫黄酸化物(K値) | - | 8.76 | 1 | 0.17 | ○ | 0.20 |
| ボイラー | ばいじん | g/m ³ N | 0.3 | 0.09 | 0.05 | ○ | 0.06 |
| | 窒素酸化物 | ppm | 180 | 130 | 66 | ○ | 68 |
| | 硫黄酸化物(K値) | - | 8.76 | 1 | 0.19 | ○ | 0.21 |
| ボイラー | ばいじん | g/m ³ N | 0.3 | 0.09 | 0.01 | ○ | 0.01 |
| | 窒素酸化物 | ppm | 180 | 130 | 72 | ○ | 79 |
| | 硫黄酸化物(K値) | - | 8.76 | 1 | 0.08 | ○ | 0.08 |
| ボイラー | ばいじん | g/m ³ N | 0.3 | 0.09 | 0.01 | ○ | 0.01 |
| | 窒素酸化物 | ppm | 180 | 130 | 94 | ○ | 96 |
| | 硫黄酸化物(K値) | - | 8.76 | 1 | 0.16 | ○ | 0.18 |
| ボイラー | ばいじん | g/m ³ N | 0.3 | 0.09 | 0.05 | ○ | 0.05 |
| | 窒素酸化物 | ppm | 180 | 130 | 71 | ○ | 75 |
| | 硫黄酸化物(K値) | - | 8.76 | 1 | 0.11 | ○ | 0.14 |

注：印は測定結果が自主基準値内であることを示す

騒音・振動測定結果

2005年度測定結果の平均値

| 測定 | 測定時刻 | 単位 | 国の基準値 | 自主基準値 | 平均測定値 | 測定結果 | MAX |
|----|-------------|----|-------|-------|-------|------|-----|
| 騒音 | 6:00～8:00 | dB | 65 | 60 | 54 | ○ | 56 |
| | 8:00～18:00 | dB | 70 | 65 | 52 | ○ | 54 |
| | 18:00～22:00 | dB | 70 | 65 | 53 | ○ | 55 |
| | 22:00～翌6:00 | dB | 60 | 55 | 53 | ○ | 54 |
| 振動 | 8:00～20:00 | dB | 65 | 60 | 30 | ○ | 30 |
| | 20:00～翌8:00 | dB | 60 | 55 | 30 | ○ | 30 |

注：印は測定結果が自主基準値内であることを示す

分析測定：株式会社近畿分析センター

URL <http://www.kbc-em.co.jp>

■ 地域社会とのかかわり1

2005年度環境ボランティア実施状況

良き企業市民の仲間入りをすべく地域に密着した活動を展開しています。

- ・ 地域環境向上の一環として、環境ボランティア活動等を積極的に実施し、地域社会とのつながりを密にしています。
- ・ 行政、市民、当社従業員が一体となり、特徴的な活動を展開するように努力しています。



Make a difference day

NECグループでは社会貢献活動の一環として「Make a difference day」を設定しており、当社では、琵琶湖博物館のある烏丸半島周辺の清掃を従業員及びその家族約300名で実施し、2トントラック一台分のゴミを回収しました。



ヨシ刈り

水質浄化や生物を豊かに育むなど様々な機能をもつヨシ帯を保全する活動が市民、事業者、行政が一体となって行われています。毎年、大津市主催でこのヨシ刈りが実施されており、当社からも32名が参加し、良き企業市民としてさわやかな汗を流しました。



琵琶湖一斉清掃

滋賀県民が大切にしている琵琶湖周辺を清掃する活動に、毎年参加しています。地域の方たちと一緒に湖岸道路、河川清掃、工場周辺のゴミ拾いを行っています。

■ 地域社会とのかかわり2

地域との環境コミュニケーション実施状況

- ・ 地域の皆様との定期的な情報交換の機会として、近隣自治会との懇談会を年1回実施しています。
- ・ 地域の方との共同作業として、盛越川沿いに設置しているプランターの花の植替えや松並木の整備を進めています。



自治会との懇談会

地域の方との環境コミュニケーションの一環として地元自治会の役員の皆様と情報交換を行いました。当社全般に係わる内容及び環境管理活動を説明すると共にP R T R法への対応状況についても情報提供しました。



県民ゴミゼロ大作戦

「ふるさとの盛越川を愛する会」のメンバーの方達と川の清掃活動を行っております。ゴミゼロ大作戦として、川の中の草刈りも行います。



花の植え替え

近隣自治会の方と共同で盛越川沿いのプランターの花の植替え作業を年2～3回行っています。

地元自治会の方及び当社従業員が協力して作業を行い気持ちのいい汗を流しました。

■ 地域社会とのかかわり3

淡海エコフォスター制度に登録

NEC関西有志・晴嵐1丁目自治会は、公共場所を責任もって定期清掃する淡海エコフォスターの合意書に滋賀県知事と締結し、毎週水曜日に清掃活動を実施しています。

- ・ 毎週水曜日に清掃活動実施
- ・ 湖岸道路、JR石山駅周辺、盛越川等の美化
- ・ 誰でも、いつでも自由参加

注) 淡海エコフォスター制度：エコ（環境）とフォスター（育成する）を結び付け、環境こだわり県滋賀での公共の場所の美化を推進する制度



車道拡幅・歩道の整備に協力しました



淡海エコフォスター制度に登録し、県道に看板を掲示しています。

（啓発看板取付日 2004年2月）

毎週水曜日には自主的に有志が集まって湖岸道路、JR石山駅周辺、当社の工場外周のごみ拾いを実施しています。また工場前の盛越川には菖蒲を植えています。

■ 地域社会とのかかわり4

工場敷地内にケナフを植えて地球環境保護に協力しています。

- ・ケナフは短期間に旺盛な成長をしますので普通の木より二酸化炭素の吸収が3～8倍と多くCO₂削減に効果があります。
- ・ケナフは夏の午前中に黄色い花を咲かせ従業員の目を楽しませてくれます。また、繊維を利用して紙漉きもできます。



毎年、地球環境保護を考えることを目的に工場敷地内に従業員の手でケナフを植えております。また、取れた種や苗を希望する従業員や近隣の方に提供して、家庭や畑でも栽培してもらっています。



夏はケナフの花が楽しみです。成長が早く毎日どんどん背丈が伸びていきます。黄色い花が咲き始めると毎日たくさん咲きますので目の保養にもなります。

背丈が高い割には根が浅いのでちょっとの風で倒れてしまうので支柱に結んで倒れないように配慮しています。



ケナフの繊維から非木材紙に加工できます。敷地内で収穫したケナフを原料に名刺を作成しています。

また、地球環境保護の意識を高めるために従業員や近隣の方と一緒に紙漉き体験も行っています。

■ 滋賀県条例に基づく大気環境負荷低減計画書

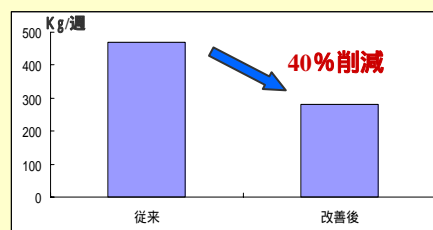
滋賀県では、化学物質等による大気汚染など地球規模の環境課題への取り組みを総合的に推進するために「滋賀県大気環境への負荷の低減に関する条例」が制定され、当社では平成18年4月に条例に基づく大気環境負荷低減計画を作成し、届出しています。



■ モビリティ・マネジメント・プログラムへの参加

国土交通省近畿運輸局が推進している「かしこいクルマの使い方を考える」運動に、従業員50名が参加しました。

- ・ 通勤方法を考える
- ・ 買物には何でいく
- ・ 車の利用順路を考える
- ・ 家族の行動を話し合う



従来の生活スタイルからのクルマの使い方と、改善後の「かしこいクルマの使い方」を比較しました。50人全体の前後1週間毎の比較により、CO2 190kg (40%に相当)削減できました。

■ 土壌・地下水問題への対応状況 1

- 当社全工場でトリクロロエチレン・テトラクロロエチレン・1,1,1-トリクロロエタンの使用は、1991年12月に全廃しています。
- 1998年10月に当社の敷地内における塩素系有機溶剤による汚染状況を確認後1999年6月より本格的に浄化対策を進めています。
- 当社の敷地境界線を越えて、塩素系有機溶剤による汚染が全くないことを確認しています。

当社における塩素系有機溶剤の使用状況

| 項目 物質名 | 使用開始年月 | 全廃年月 |
|---------------|---------|----------|
| トリクロロエチレン | 1959年1月 | 1987年3月 |
| テトラクロロエチレン | 1959年1月 | 1988年1月 |
| 1,1,1トリクロロエタン | 1984年7月 | 1991年12月 |

土壌汚染に対する滋賀県の動向と当社の対応

| 年代 項目 | 以前～ 1997年 | 1998年 | 1999年 | 2000年 ～現在 |
|---------------|-------------------------------------|---------------------|---------------------|----------------------|
| 滋賀県の動向 | 県内の土壌汚染に係わる状況のヒアリング調査 | 県内の土壌汚染に係わる状況の実態調査 | 実態調査結果に基づき各企業へ改善を指導 | 定期的な(1回/年)ヒアリング調査の継続 |
| 当社の対応 | NECグループの対応に同調 ・使用実態調査 ・分析測定調査 | 実態調査への対応と自主調査の計画・実施 | 一部土壌の入替えと浄化装置の設置対応 | 改善状況の定期的な行政への報告 |

■ 土壌・地下水問題への対応状況 2

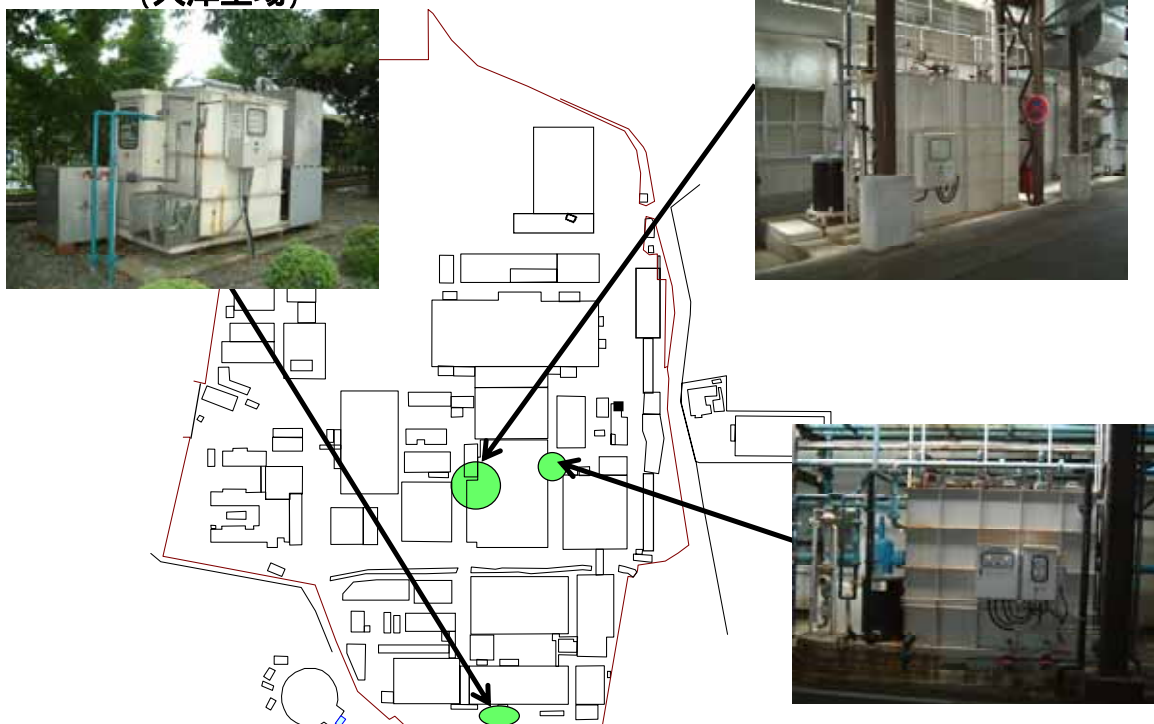
塩素系有機溶剤による土壌・地下水汚染への対応状況

| 工場名 | 対応状況 |
|---------|---|
| 本社・大津工場 | <ul style="list-style-type: none"> ・建物のない場所は、土壌入替え実施 (98/8) ・地下水浄化装置3台を設置し、揚水井戸6ヶ所から8ヶ所に増強し、浄化実施中 (05/02～) ・新技術による浄化検討開始 (06/4) |
| 旧彦根工場 | 対応済み |

塩素系有機溶剤 トリクロロエチレン, テトラクロロエチレン, 1,1,1-トリクロロエタン, 1,2-ジシクロロエチレン

地下水浄化装置配置図

(大津工場)





砂擦りのふじ：三大神社（滋賀県指定自然記念物）

発行日： 2006年7月

発行部門：関西日本電気株式会社（NEC関西）
環境工務部（環境管理）

連絡先：〒520-8555
滋賀県大津市晴嵐二丁目9番1号
環境工務部（環境管理）
TEL 077-537-7528
FAX 077-537-8198

対象期間：2005年4月～2006年3月

次回発行予定：2007年6月

環境管理活動HPアドレス：
<http://www.kansai.necel.com/>